



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,
MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,
チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2017年 富士五湖クラブ 6月プリテン 第151号

会長	原 俊彦
副会長	茅野信雄
副会長	望月 勉
書記	後藤明久
会計	武藤五子
会計	望月喜代子
直前会長	小池亦彦

国際会長：Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：Tung Ming Hsiao (台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：利根川 恵子 (川越)
「明日に向かって、今日動こう」
あずさ部長：浅羽俊一郎(東京山手)
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」

富士五湖クラブ会長：原 俊彦
『一人ひとり持ち味を出して輝こう！』

6月第1例会
2017年6月9日PM8時～
於：ふれあいセンター

- 1、開会点鐘
- 2、ワイズソング&ワイズの信条
- 3、会長あいさつ
- 4、議事
- 7、ハッピーバスデー&アニバーサリー
- 8、閉会点鐘

今月のハッピーバスデー

6月12日 小池敦子さん

今月のアニバーサリー

6月18日 原 俊彦さん&淑子さん
おめでとうございます！

5月のデータ

会員数	11名
例会出席	10名
例会出席率	91%
ニコニコBOX	0円
累計	486円



2017年5月第1例会

日時;2017年5月12日(金)午後8時~9時00分

場所;富士吉田市ふれあいセンター

参加者;原2、望月2、後藤2、三浦、武藤+まきちゃん、茅野

4/22 第7回フライングディスク大会

選手100名ワイズ含み総勢200名と最多になった。参加者が増えて良かった。

1~3位のダブリがあり、メダルが足りなくなった。主審の誤り。

最初に入った人が上位に来る、同位は再投で決まることが決まり。

募金 22797 円>東日本大震災&熊本地震復興基金へ

受付で混雑あり>少し離れた所に、お茶を出す男性担当を一人置く。

欠席者用紙を施設の渡し、書いてもらい、カードを抜いておく(体操時間にチェック)

これ以上参加者が増えたら、始まる時間を早めるなど、タイムスケジュールを見直す。

参加者13施設でした。次回は2018年4月28日(土)の予定。

スタッフベストを作る。

富士山例会の日程>2017年9月30日~10月1日(土日)

前の週は連休で難しい。>原夫妻は都合により欠席となる。

川越区大会でのあずさ部長の発表写真>富士山例会とフライングディスク大会を出す。

今後の予定

5/26(金)第2例会;富士吉田協会の今村伝道師プロフィール、送迎(三浦)

喰処ほ一めい;7時から開始、40分以内の卓話、8時食事。

例会扱いで会員参加費1000円。卓話謝礼5000円準備する。

中田主事参加>チャリティラン景品献品(日立サイクロン掃除機&イオンドライヤー)

6/3-4(土日)川越区大会;原2、望月2、後藤2、茅野、小池(朝帰る)

宿は手配済み(後藤)。甲府21が同宿になった。

6/10(土)チャリティラン;原2、望月2、茅野

6/9(金)第1例会(決算、総会資料準備)、6/23(金)第2例会(定期総会)

終了後、都合の付く人は、いつものサイズに移動して、懇親を深めた。お疲れ様でした。

第3回あずさ部アトム評議会

原 俊彦

2017年5月13日(土)に今年度最後の評議会が、東京たんぼぼクラブのホストで東京山手センターで開催されました。

前日の金曜日に富士五湖クラブの第一例会があり、例会が終わって既に夜10時を過ぎていましたが犬のマロンを家に置いて来たため急ぎ東京にもどりました。

夜間の中央道は雨、しかも山間部は濃い霧に包まれて視界が悪く、最悪の道路状況でスピードが出せず家に着いたのは既に午前様になっていました。

ただ、前日帰京したお陰で評議会当日は、少しユックリ家を出る事が出来ました。

11時から始まった今回の評議会は、終了後に東京たんぼぼクラブ15周年記念例会が予定されていた為か、多少多めの総勢65名、富士五湖クラブからは望月2、後藤2、原2の合計6名でした。

議案は何れも大野次期部長に関するもので、次期部活動方針、次期部役員、次期予算案、次期部会・評議会の日程などでしたが、第2号議案予算案に関しては一部不備が有り、次年度第一回評議会で改めて審議される事になりました。

他の議案は全て原案通りの内容で承認されました。

特に、富士五湖クラブ関する部分では、2018年5月12日(土)開催予定の第3回評議会のホストを担当する事が決まりました。

評議会は予定通りの時間に終了、記念例会の会食までは時間があつたので少しばかりお腹に入れておこうと言う事になり、中華レストランに入った所、いつ迄待っても食事が出てこない。記念例会開始15分前になって漸くバラ・バラと出始めたものの軽めと思って注文した冷やし中華がテン

コ盛りの多さ・・・結局食べ切れず時間切れで急ぎ会場へ・・・東京たんぽぽクラブ15周年記念例会へ続く。



東京たんぽぽ15周年記念例会

原 俊彦

昼食を終え急ぎ記念例会の会場に駆けつけた時、既に例会は始まっていて、丁度ワイズソングが始まった所でした。会場内の席は殆ど埋まっていた為、富士五湖クラブのメンバーは遅れたにも拘らず前方の非常に良い席に座る事が出来ました。たんぽぽクラブはもともと東京YMCAの不登校プログラム「LIBY」を支援する目的で設立された東日本区最初の女性クラブですが、地域奉仕活動の一環としてわくわくサロンを主催したり、東日本大震災の被災地・石巻グループホームで歌の会を開催するなど、少人数クラブでありながら常に外に向け積極的な奉仕活動を続けて来ました。



記念式典では菅谷東京YMCA総主事、利根川理事、浅羽あずさ部部長などの来賓挨拶の後、越智美香さんのピアノ演奏、相田麻純さんの素晴らしい歌声が式典に華を添えました。

130名余りの出席者全員で記念撮影をした後、会場を2階に移し栗本次期東日本区理事の乾杯で祝会がスタートしました。

女性クラブらしい心の籠ったご馳走を戴きながら、出席者の方々と大いに語り合い大変有意義な時間を持つ事が出来ました。最後に記念例会実行委員長の越智さんから「ここ数年来数々の病魔に苛まれて来ましたが、遂にガン細胞が全身に回り、先生からこれ以上手術は無理との宣言をされている状況の中、この15周年記念例会を無事終える事が出来ました。」とのご挨拶がありました。越智さんの一日も早い回復をお祈りすると共に、東京たんぽぽクラブのこれからの発展を願うばかりです。



2017年5月第2例会

日時；2017年5月26日(金)午後7時～10時00分

場所；喰い処 ほーめい

参加者；原 2、望月 2、後藤 2、三浦、武藤+まきちゃん、小池、茅野、中田主事

卓話者；富士吉田協会 今村あづさ伝道師

今回は、場所を移して卓話例会を行なった。原会長の開会点鐘、久々の卓話例会ですが宜しくと会長挨拶で始まった。諸報告として、6月例会の日程確認と川越区大会の集合時間の確認を行った。中田主事にチャリティランの景品を献品した。今回は日立サイクロン型ステック掃除機とイオン

付きドライバーの2機種です。チャリティランには原2、望月2が参加予定。



今村あづさ伝道師の卓話を始めてもらいました。東京生まれで三浦洋美さんと同年とわかり、同じ世代で親近感を感じました。「山谷㍻㍻兄弟の家」のまりや食堂での弁当作りから説教する側に進むよう要請され、神学校に通い、牧師になってしまった。富士吉田協会には2015年5月から勤務している。

山谷伝道所のまりや食堂での経験が、人生の方向となった。のり弁当130円、玉子焼き定食160円、肉定食300円など安く提供している。食材はフードバンクからの献品で成り立っている。もちろん人材はボランティア。その点では人材頼みの教会活動は不安定であり、東日本大震災の時には、東北にボランティアに行く人が多く、人手不足で苦勞した。山谷地区にも1メートルの津波が川をさかのぼって河川敷に作っていた仮設住宅が流されて、住むところもなくなった人も出て大変な状況だった。

まりや食堂は、まず説教を聞いてもらい、食事をしてもらう方式で、200名くらいの炊き出しをしていた。人は愛され心配されている、一人一人祈りを上げる事が大事。他人のために祈り、助け合う生活によってサポートする。人との関わりを持ち、互いにサポートしていくことが重要。精神的サポートや金銭的サポートも必要な人が多い現状がある。

教会は日本基督教団のネットワークで成り立ち、富士吉田教会は山梨県、長野県、静岡県で異動もある。

学生の時に、野尻キャンプに行き、楽しくてしょうがなかった。海外までキャンプに行ったほどで

す。意外な行動力に皆驚きました。YMCAとの関わりは、杉並にいた時に、大和田浩二さんがディレクターをしていた時のリーダーでした。ワイズとの関わりも、そこで吉田明弘さんなどと交流がありました。宮内さんは富士吉田教会にきて頂いたご縁です。ありがとうございました。原会長より謝礼があり、是非お付き合いを続けていきたいと思いますと挨拶して卓話終了となった。



食事の時間に移り、今村伝道師の食前感謝と原会長の乾杯で始まりました。おいしい料理を頂きながら、おいしいドリンクで、わいわいがやがやと懇親を深めた。遅れて参加した茅野メンは親しく今村伝道師とお話が出来たようです。時間が来たので、原会長の閉会点鐘で締めくくりました。



「あれや これや」

須藤 繁

ゆうゆうの里に入った筈なのに、どうもあれやこれやと追い立てられている。関係している3つのボランティア団体のトップが病気になったり、仕事上暴走したりして、その後始末に振り回されている。そのうえ、この春には、里のいわば町内会の役員である8人委員会の委員に選ばれてしまった。仕事の上での最後のご奉公は終わったつもりだったが、まだ人生最後のご奉公は終わっていません。そのうえ、昨年からの終活の講義も続いている。毎回20名を超える方々が集まるので、止める訳にもいかない。次回は遺言、その次は安楽死、尊厳死を予定している。ゆうゆうと生きたからといって、ゆうゆうと死を迎えられる

保証はない。安楽死も尊厳死も相当な覚悟が必要 気がしている。
だ。自分にその強さがあるのか、試されるような

〈山梨 YMCA だより〉

露木 淳司

定期総会が無事終了しました。山梨YMCAの財政構造はこの10年で大きく様変わりしました。英語学校が収益の半分を占めていた時代から、4本の柱で支えるスタイルになっています。すなわち、学童保育（プライムタイム）、介護保険事業（ぶどうの木）、野外活動、そして英語学校です。そして今年から5本目の柱として障がい児の放課後等児童デイサービスを立ち上げました。これらの事業が等しく安定して収益が上がるようになれば、組織は安泰なのですが、もうしばらく時間がかかりそうです。

今年の基本聖句は、今の産みの苦しみを耐え抜きたいという願いの下に選びました。ローマの信徒への手紙8章18節「現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると取るに足りない」とわたしは思います。」です。2021年の75周年を見据えて、FOR ALLをキーワードに、四代目となる新会館建設を実現すべく、この夏より75周年記念募金を開始させていただきます。今後共、皆様のYMCAづくりに向けて、より一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

チャリティーランが終わると本格的な夏モードに入ります。今年も初めてYMCAの門をたたく子どもたちをたくさん迎えらるよう万全の準備をして臨みます。

次期役員&委員会構成

会長	原 淑子	CS	三浦洋美	武藤五子	須藤 繁
副会長	望月 勉	EMC	望月 勉	小池亦彦	
副会長	後藤明久	Yサ/ユース	茅野信雄		
書記	後藤昭子	BF/TOF	小池亦彦		
会計	武藤五子	DBC/IBC	原 俊彦		
会計	望月喜代子	ブリテン	原 淑子	後藤昭子	
直前会長	原 俊彦	富士山例会	後藤明久	望月喜代子	
担当主事	中田久仁	広報	後藤昭子		
		ファンド	三浦洋美	原 俊彦	

これからの予定

6/3-6/4	第20回東日本区大会 in 川越	ウエスタ川越
6/9(金)	6月第1例会	20時～ふれあいセンター
6/10(土)	第20回山梨YMCAチャリティーラン	小瀬陸上競技場
6/23(金)	6月第2例会（定期総会）	20時～ふれあいセンター
7/7(金)	7月キックオフ例会	20時～ふれあいセンター
7/15(土)	あずさ部 ヤッホー評議会	松本駅前会館
7/22(土)	7月納涼例会	原別邸 バーベキュー
8/4(金)	8月第1例会	20時～ふれあいセンター

♪つぶやき～acco

バタバタ忙しい日々であれよあれよという間に今年度も残り8日。

なんとか今年度のブリテンの編集を終えることができました。1年間のご協力ありがとうございました。